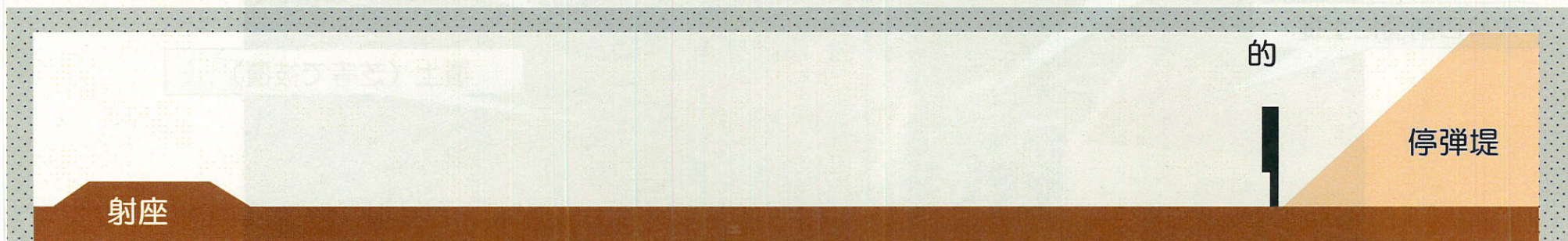


覆道射場の概要

- 全周を鉄筋コンクリートで囲っており、弾が射撃場の外に出ることはありません。
- 室内であるため射撃の騒音は、ほとんどありません。



射場縦断面図（イメージ）



【参 考】

- 過去覆道射場外に弾が飛び出した事案は0件
- 覆道射場における射撃による騒音苦情は0件

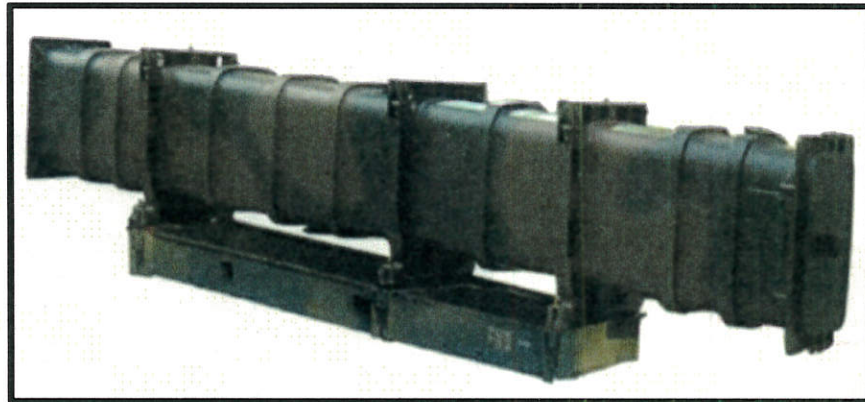
弾薬庫の概要

- 弾薬庫の整備及び火薬類の貯蔵に当たっては、火薬類による災害を防止し、公共の安全を確保することを目的とする火薬類取締法等の関係法令に基づき、適切に行い、駐屯地周辺の各施設から火薬類取締法施行規則第23条に規定する保安距離を十分確保しております。
- 24時間態勢で弾薬庫における警備を行うとともに、全ての隊員に対し、火薬類の安全管理に必要な教育を行うなど、安全対策や事故防止に努めてまいります。
- 確認できる範囲では、自衛隊の弾薬庫において爆発事故は起きていないと承知しております。

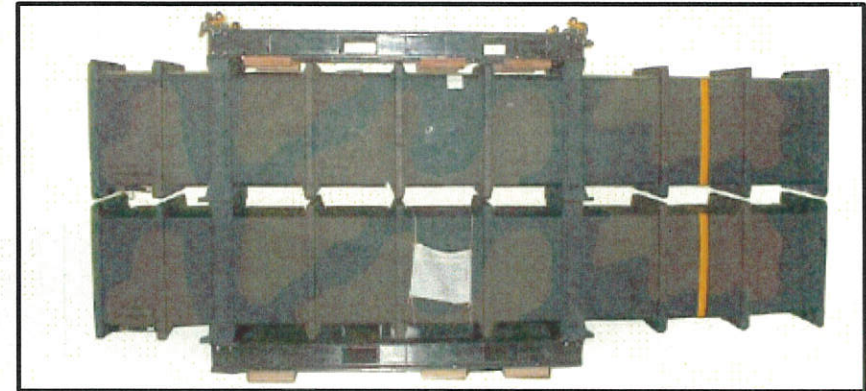


弾薬の安全性について（誘導弾）

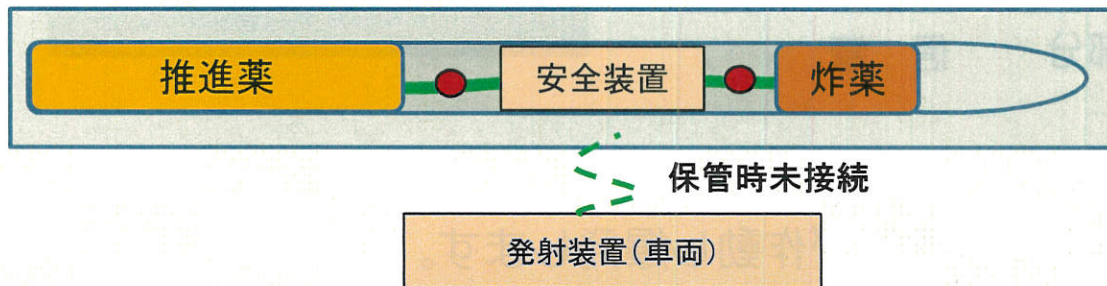
【保管のイメージ（地対艦誘導弾）】



【保管のイメージ（地対空誘導弾）】



【誘導弾の安全装置】



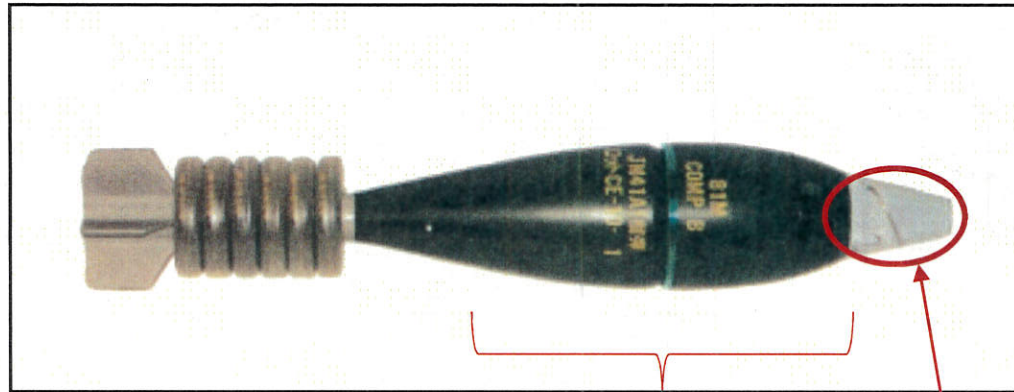
【誘導弾の作動について】

発射装置（車両）に搭載し、スイッチをONにすると推進薬が噴射し発射する。発射後、目標物に衝突した衝撃により炸薬が爆発するもの

- 誘導弾を発射するには電力を必要としますが、保管時は安全装置により電気が流れないよう物理的に回路を遮断して発射に必要な電気は発生いたしません。
- 安全装置は、誘導弾を発射装置（車両）に搭載し、発射されるまで最終的な解除はされません。
- 誘導弾の保管は、専用の器具でボルト等により固定して保管しており、地震等による揺れや荷崩れ等による落下を未然に防止しています。
- 多少の衝撃では炸薬は爆発しません。

弾薬の安全性について（迫撃砲弾）

【迫撃砲弾の形状】



爆発する部分 信管

【迫撃砲弾を使用する 81 mm迫撃砲】



- 砲弾は、目標物に衝突した衝撃で、信管が作動し爆発します。
- 信管には、安全装置が装着されているとともに、加速度・衝撃力・圧力等の複数の条件が整わない限り作動しません。
- 砲弾は信管を取り外した状態で保管します。
- 保管の際は、1発毎に特殊な専用ケースに梱包され、数発まとめて木箱に保管されています。
- 保管に使用するケース及び木箱は、耐熱性・耐衝撃性等が優れています。

駐屯地施設のイメージ（排水処理場）

- 駐屯地内から下水道に排出する前に排水を浄化処理する施設



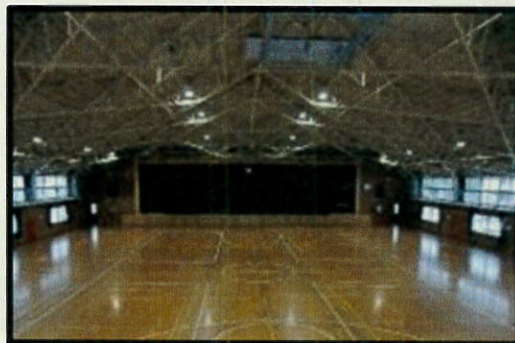
他の駐屯地の建設例

駐屯地施設のイメージ（食堂・福利厚生施設）

- 隊員の食堂、体育館、浴場、売店などを合棟にした施設



食堂



体育館



浴場



売店

他の駐屯地の建設例

駐屯地施設のイメージ（医務室）

- 健康診断、診察など、隊員の健康管理を行う施設



待合室



他の駐屯地の建設例



X線検査室

駐屯地施設のイメージ（倉庫）

- 天幕、炊事具、水缶、被服などの隊員の装備品を保管する施設



他の駐屯地の建設例

駐屯地施設のイメージ（整備場）

- 誘導弾など自衛隊装備品の整備を行う施設



他の駐屯地の建設例

駐屯地施設のイメージ（保管庫）

- 警備に必要な発煙筒などを安全に保管する施設



他の駐屯地の建設例

駐屯地施設のイメージ（給油所）

- 自衛隊車両への給油を行う施設



他の駐屯地の建設例

駐屯地施設のイメージ（木工所）

- 駐屯地の施設の補修に使用する建築材料の加工などを行う施設



他の駐屯地の建設例

駐屯地施設のイメージ（警衛所）

- 駐屯地の警備を行う隊員が勤務する施設及び消防車庫を合棟にした施設



他の駐屯地の建設例

駐屯地施設のイメージ（受電所、給水所、その他）

- 駐屯地外部から受電し、駐屯地内に給電する施設
- 駐屯地外部から給水を受け、ポンプなどの施設により駐屯地内に給水を行う施設

受電所



給水所



他の駐屯地の建設例

- その他の建物としては、油脂類を保管する施設や駐屯地の出入り口を警備する隊員の詰所などがあります。
- 建物を配置する場所以外については、整備されていない土地を移動する訓練などの訓練場として使用する計画です。

余 白

5. 環境等への配慮

工事中の配慮（自然環境及び景観への配慮）

- 防衛省としては、自衛隊の配置や施設整備に当たっては動植物などの自然環境及び周辺の風景に十分配慮することは当然と考えており、今後、石垣市ともよく調整し、必要な措置を講じます。

自然環境

植物

- ・ 移動が必要となる重要な植物の移植
- ・ テープ等の張り付けによる残存樹木の保護

動物

- ・ 移動能力の低い動物の移動
- ・ 小動物進入防止柵の設置

作業員への教育

- ・ 工事範囲外への作業員の立ち入り制限
- ・ 重要な動植物保護手帳の配布（特徴、対応等）

景観

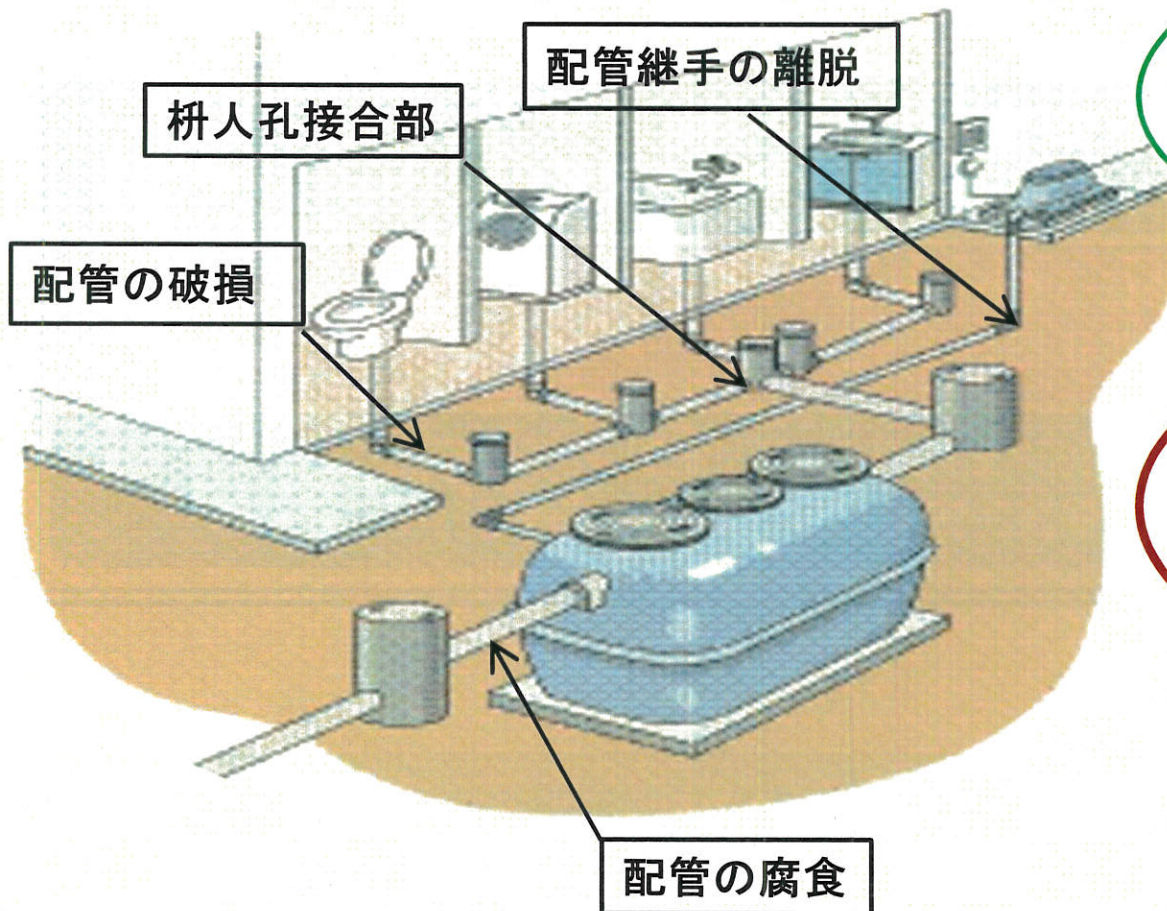
景観法や石垣市風景づくり条例などに基づき、周辺の風景に配慮した、外観や仕上げに努めてまいります。

- ・ 緑化修景、赤瓦など地域の歴史や風土への配慮など

汚水排水施設について

➤【自衛隊施設汚水処理フローイメージ】

※ 通常の自衛隊施設整備においても、水漏れや詰まりが生じないように施工。
他方、以下の要因により漏れが発生することがある。



【浄化槽】

浄化槽放流水の適切な管理

年1回の法定点検に加え以下の点検を実施

- 週1回の保守点検実施
- 3ヶ月毎の水質検査実施

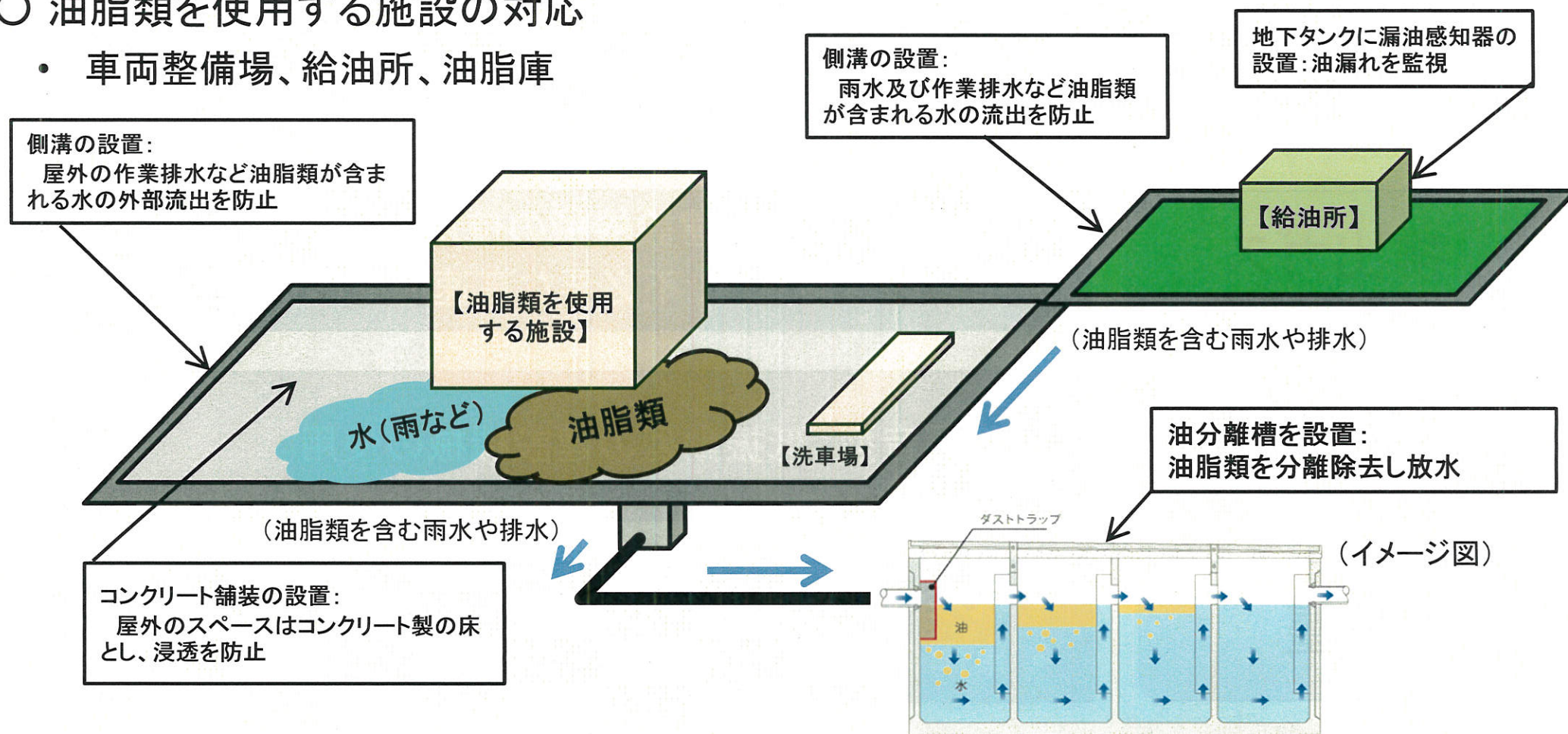
◆漏水の発生要因

- ・ 配管継手の離脱 … 地震・腐食
- ・ 配管の破損 … 地震、老朽化
- ・ 配管の腐食 … 老朽化、腐食
- ・ 枡人孔接合部 … 老朽化

環境への配慮（油脂分を含む排水対策）

○ 油脂類を使用する施設の対応

- 車両整備場、給油所、油脂庫



油類取扱い・発生施設のリスク管理対策

- 車両整備場、給油所、油脂庫・・・排水は油分離槽を通して処理水を駐屯地外へ排出し、保全対策を図る。

工事中の配慮

- 排出ガス・騒音・振動・粉塵の影響の低減のため、関係法令等に基づき、適切な機械により施工します。

排出ガス

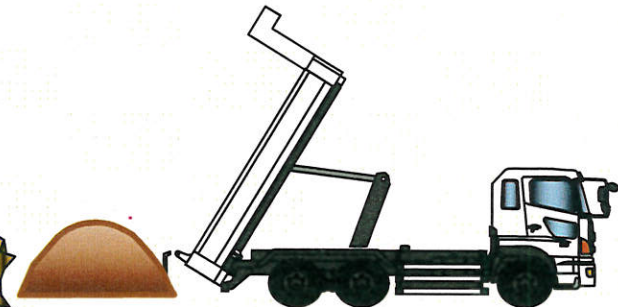
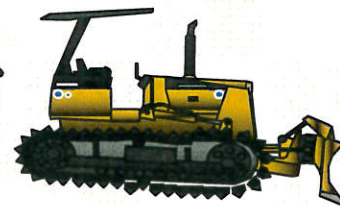
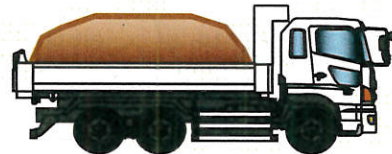
- 排出ガス対策型建設機械の使用
- 機械の整備点検、不必要な高速運転の抑制

振動・騒音

- 低騒音型、低振動型の建設機械の使用

粉塵

- 現場内の散水
- 車両のタイヤ洗浄



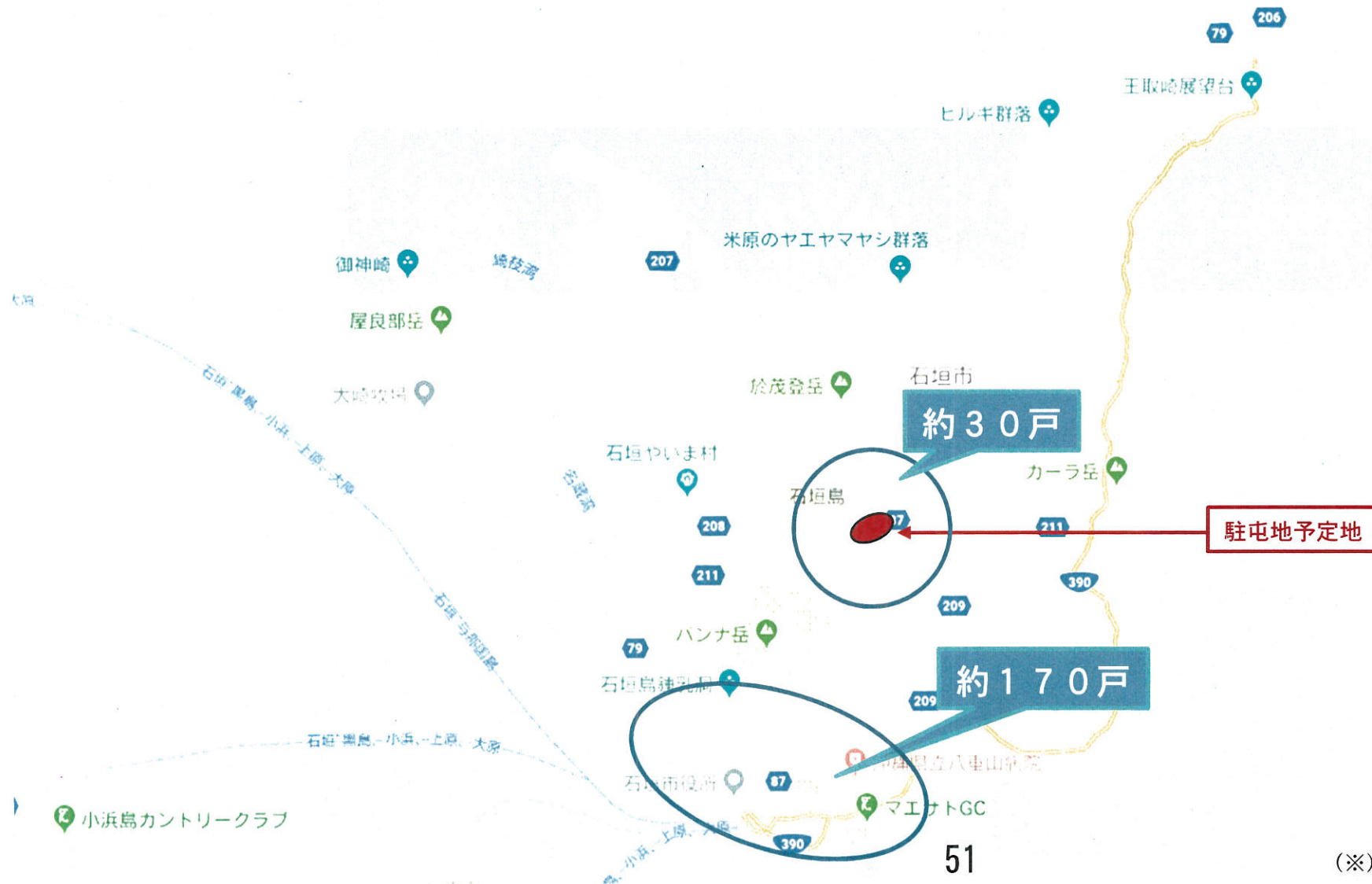
余 白

6. 宿舎の整備について

石垣島における宿舎整備の検討

206

- 石垣島島内に200戸程度整備予定
- 駐屯地周辺に約30戸、市街地周辺に約170戸の設置を予定しています。



(※) グーグルマップに防衛省加筆

7. 地域への貢献等

国の取組み

◎ 防衛施設の設置により負担をお願いする地域の市町村に対しましては、防衛施設周辺対策事業の実施などの施策が国の取組みとして考えられます。

◎ 防衛施設周辺対策事業とは、防衛施設の設置及び運用等による障害の緩和等のため、各種助成事業を行うものです。

主な助成事業としましては、有線ラジオ、無線放送、消防施設、公園・緑地、道路、屋外運動場、農業・林業・漁業用施設(製氷施設、冷蔵施設等)、体育館、コミュニティ供用施設、水道、ごみ処理施設などがあります。



国の取組み（実例）



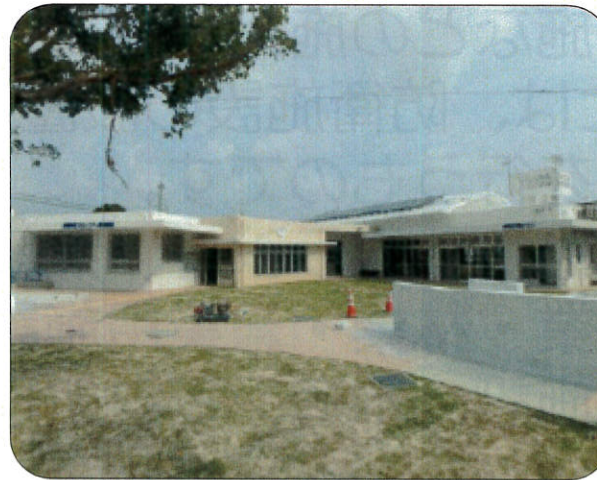
事 案 名：公園

補助事業者：沖縄県北谷町長

実施年度：平成18～23年度

事業費：約714百万円

補助額：約401百万円



事 案 名：コミュニティ供用施設

補助事業者：沖縄県うるま市長

実施年度：平成27年度

事業費：約138百万円

補助額：約101百万円



事 案 名：消防施設
（高規格救急自動車）

補助事業者：沖縄県久米島町長

実施年度：平成28年度

事業費：約38百万円

補助額：約16百万円

自衛隊施設設置による効果

- ◎ 自衛隊施設の設置による効果として考えられるものは以下のとおりです。
- ① 隊員の公租公課
 - ② 隊員及びその家族の消費
 - ③ 部隊の活動（部隊による資材等の購入）
 - ④ 建設工事（関連する施設整備、補助事業に伴う工事等）
 - ⑤ 部隊来訪者による消費
 - ⑥ 部外活力業務の導入（調理業務など）



自衛隊配置後は、各種助成事業や地域振興のお手伝いをさせていただきます。皆様の御理解を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

各種行事への支援

全国に配置されている部隊は地元自治体が主催する各種行事を支援しています。



夏祭り支援



冬祭り支援



マラソン支援

先島諸島における各種行事への支援など

与那国島マラソンに対する支援



選手への給水支援

宮古島トライアスロンに対する支援



緊急時の医療支援

石垣島での巡回演奏



レース後の入浴支援

(参考) 南西地域の他の陸自駐屯地整備の状況

- 与那国駐屯地（平成28年3月開設）
 - ・約160人規模の沿岸監視部隊等を配置
 - ・平成23年度～平成30年度の施設整備関連予算：約380億円
（用地取得、調査、工事等の合計額）
 - ・今後、グラウンド整備を実施予定
- 宮古島への陸上自衛隊警備部隊等の配置
 - ・約700～800人規模の警備部隊、地对艦誘導弾部隊、地对空誘導弾部隊等を配置
 - ・平成28年度～平成30年度の施設整備関連予算：約680億円
（用地取得、調査、工事等の合計額）
 - ・現在、千代田カントリークラブ地区における施設整備を実施中
- 奄美大島への陸上自衛隊警備部隊等の配置
 - ・約550人規模の警備部隊、地对艦誘導弾部隊、地对空誘導弾部隊等を配置
 - ・平成27年度～平成30年度の施設整備関連予算：約670億円
（用地取得、調査、工事等の合計額）
 - ・現在、奄美地区及び瀬戸内地区における施設整備を実施中